

人権と向き合い考える ～人権週間の取組～

本校では、12月10日の「世界人権デー」を含む11月16日～12月10日を入権週間に位置付け、人権を取り上げた道徳の授業実践や、「めぐみ（北朝鮮による拉致問題）」「栗生の園に生きた証（ハンセン病の問題）」等の視聴、人権標語の作成、人権学習講演会の実施等、人権集中学習を行っています。この人権集中学習を通して、人権に関する基礎的な内容や生命を尊重することについて理解を深めるとともに、自分の大切さや他の人の大切さを認め合いながら、身近な人権問題を解決しようとする能力や態度を身に付けることを目的としています。

《人権学習講演会① ～DET（障害平等研修）～》

1年生を対象とした講演会は、12月7日に行いました。DET群馬代表の飯島邦敏代表をはじめ、5名のファシリテーターと5名のサポーターを講師に招き、障害者を含むすべての人々が暮らしやすい共生社会の実現へ向けて、こころのバリアフリーを目指す「DET（障害平等研修）」を行いました。研修では飯島様らが進行役を務め、生徒が話し合いながら、社会にある障害、差別、偏見に気づき、自分に何ができるのか考えました。生徒から「本当の障害は自分たちの環境がつくっていると分かりました」「協力して支え合える社会をつくりたい」などの感想が出されていました。



※DETとは、Disability Equality Trainingの頭文字のことです。

《人権学習講演会② ～男女共同参画社会の推進について～》

2年生から5年生を対象とした講演会は、12月8日に、第3少人数教室（各クラス代表1名以外は各HR教室でオンラインにて視聴）を会場に行われました。本年度は、共愛学園前橋国際大学から大森昭生学長を講師にお招きしました。大森様は、男女共同参画社会の推進について「私が私を生きるということ」を副題に、夫婦別姓、関連法律、性別差別、SDGsでの取組、ジェンダー問題などを取り上げながら、わかりやすくご講演くださいました。生徒から「固定観念にとらわれず、広い視点を持って生きていきたい」「誰もが自分らしく生きられる社会になってほしい」「一人の人間としての生き方や能力、個性の尊重を大切にしていきたい」などの感想が出されていました。



◆三者面談 お世話になります◆

今週12月16日（木）～22日（水）に全ての学年で三者面談が行われます（16日は6年生のみ）。面談では、学習への取組等について話題にさせていただきます。お忙しい中かとは存じますが、よろしくお願いいたします。なお、感染症防止対策へのご理解、ご協力をお願いします。また、待機場所が廊下等となります。大変冷え込みますので寒さ対策をお願いいたします。